

一般質問

町政を問う 3月定例会

一般質問に16名中9名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信を行っています。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。
※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

さらに踏み込んだ子育て施策を

A 多様なニーズに応じていきたい



たしろ げんき
田代 元気議員



町内の保育園

その他の質問

- ・中学校部活動の地域移行について

Q 町長の公約、子育て支援・教育環境日本一のまちづくりについて、これまでの取り組みについて自身の評価は。
また、この具体策にある項目だけでは到底日本一にはなれないと考えるが、この具体策以外にも一歩も二歩も踏み込んだ施策が必要である。
教育環境についても、市内公立校の学区の拡大より、定員割れが続く大津高校の魅力化を地元自治体として図るべきだ。

A 保護者の負担軽減策として、18歳までの医療費の無償化や学童保育の補助金新設、物価高騰における各年齢層への支援を行ってきた。今後も、子どもたちは町の宝と考え、多様なニーズに応えていきたい。（町長）
放課後の学習会や英会話などを通して、地元小中学生と町内の高校生が関係を深めている。
そのような絆を深めることにより地元高校への思いも強くなり、目指していくものと考えている。（教育長）

Q 町玄関にふさわしい駅北口の安心安全を

A 具体的な安全対策・カラー舗装等を実施する



ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



Q 駅北口の事業者の方から、交通量が多く、一時停止不履行や自転車のスピードの出しすぎなど、危険を感じるため、調査の依頼を受け、調査したところ、一時停止不履行が4割以上と厳しい結果となった。

美咲野団地の開発に始まり、現在の室小周辺地区の住宅建設ラッシュなど、今後も子育て世代の転入が高い水準で続くことは明らかだ。

高校通学者等の利用者は増加の一途、駅へのアクセスは自動車での送迎が主であり、自転車利用、徒歩利用が多い時間帯では交通が錯綜する。玄関にふさわしい駅北口周辺の安全対策は、

事故防止や一時停止の励行の為、カラー化対策を

その他の質問

- ・任期半ばを折り返して掲げた公約の進捗と、令和5年度の政策重点は
- ・企業進出ラッシュ、人口増加をうけて伴う町道の整備指針は
- ・子育て支援課所掌の利用者送迎に関わる事業者の安全対策は

A 県内で5番目に利用者数が多い肥後大津駅は、今後も利用者の増加が予想され対策を的確に行っていく必要がある。

北口の状況も朝夕の時間帯には高校への通学が主な利用を占めており、送迎を含め自動車を運転する人にも、横断歩道がよりわかりやすいように、カラー舗装を施す。

県道部分の交差点カラー化も交通管理者や県に対し、町民などの交通事故防止のために、早期の実現に向けて要望する。

今後、安心安全のまちづくりのために、高校生の見や一般住民の意見をとり入れながら、体制の整備や関係機関との連携強化を努めていく。

(町長)

Q 「通いの場」^{※1}への支援強化が必要

A 補助内容を検証し、見直していきたい

※1 通いの場とは 一住民主体の高齢者の居場所—

とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



つどいの場(桜丘区)

Q 通いの場を維持し、内容を充実させるためには、遊具の確保や、情報提供などの支援体制の強化と、助成金の拡充が必要ではないか。

全世代の健康づくりのためインボデイ測定や運動教室等の取組が行われるが、この事業を、アウトリーチで活用すべきではないか。

また、ボランティアポイント制度を創設し、通いの場を運営していただいている人に対して、感謝の気持ちをあらわしていくことも必要ではないか。

A 通いの場については、各種補助金の制度をお伝えしている。

通いの場を活発にされている地域もあることから、補助の内容については、検証し、見直しを行ってみたい。

またインボデイ測定や運動教室等のアウトリーチに関しては、いかに多くの人に健康づくりに関わっていただくかが重要な事なので、地域と連携を図ってみたい。

ボランティアポイント制度については、全国の事例を研究してより良い制度を整えたい。

(町長)

その他の質問

- ・手話言語条例について
- ・多子世帯への給食費の補助について
- ・人権啓発福祉センターの役割について
- ・土地区画整理事業について

Q ふるさと納税の基金化と活用の枠づけ

A 今後検討を深めたい



さとう しんじ
佐藤 真二議員



定例会総括

委員会レポート

一般質問

委員会研修レポート

大学生レポート

住民の声

Q ふるさと納税の受入が急増しているが、寄付の大半は使途が指定されておらず、そのまま財政調整基金に積み立てられているだけだ。

活用方法を提案する。

① 特定目的基金を設置し、その中で収支を明確にする。

② 基金から行政コストに充てる場合の条件と上限を定める。

③ その上で積極的に活用する。基本的な財政需要の外で活用する。「人への投資」などが例。

ふるさと納税の有効な活用のための基金化と活用の枠づけを提案する。

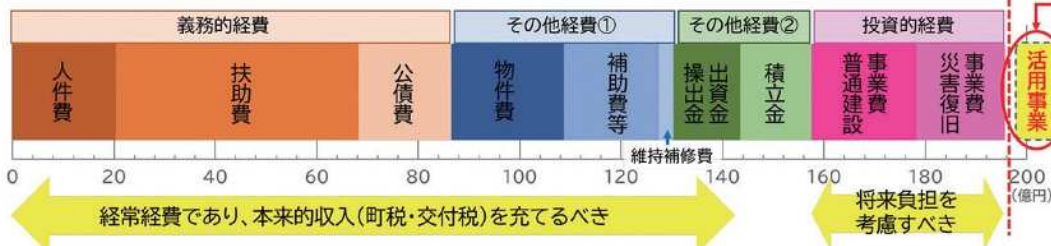
A ふるさと納税は財政的に厳しい中、貴重な財源と考える。

具体的な枠づけを加える取組は、新たな寄付を呼び込み、寄付者の希望にマッチした活用につながることからクラウドファンディング型の取組も検討している。

今後、枠づけの内容及び基金化について検討を深めたい。
(町長)

ふるさと納税をどのように活かすか

(R3年度歳出決算のイメージをもとに説明)



Q ロアッソ熊本ホームタウン誘致を

A 情報収集や課題の整理を進めている



やまべ りょうじ
山部 良二議員



多目的広場 人工芝コート

その他の質問

- ・子育て支援・教育環境日本一のまちづくりについて
- ・人生100年時を見据えた福祉について

Q 以前、空港アクセス鉄道ルートに「スポーツの森運動公園」一分岐ルートを提案したが、JRの意向もあり肥後大津分岐が濃厚だが、住民より「新たな駅建設を求める陳情」や町長の101の具休策の中にも、スポーツの森駅新設と謳われている。これは町長に期待した多くの町民の夢であり、決しておろそかにはできない。

また熊本県&サッカーと言えば「大津高校」と県民なら誰でも頭に浮かぶのではないかと。そんな中、ロアッソ熊本の運営会社は、将来の新スタジアム建設で「熊本市以外

の自治体も想定している」と取材に答えている。以上踏まればスポーツの森に「ロアッソ熊本」のホームタウン誘致するべきではないか。新駅を作れば、大量輸送も可能。

A 道路網の整備など(渋滞など)課題も山積。しかし誘致は、町外からの来客による経済効果だけでなく、住民の活気やスポーツの町としてのブランド向上や郷土への誇りにもつながると捉えており、県の動向も見守り、また住民の皆様の理解・意見も伺いながら、より本町の発展が加速するよううな形で可能性を研究していく。
(町長)

Q 台湾と友好都市を結ぶ考えはあるか

A 新たな姉妹都市提携も有効な手法



やまもと 山本 富二夫 議員



台湾友人による東小学校との交流会

Q 日本と台湾との友好都市を結ぶ事による交流で人々の考え方や多くの事を知る事が出来る。転勤されてくる家族の方も、慣れない日本生活の中でストレスを感じられると思う。ストレスを貯めないためにも、台湾人の家族と町民の交流の場を、例えば総合体育館などの使用や各施設を気軽に提供することこそ町民との交流も生まれる。

A 平成28年度から、高雄市の学校と教育交流も取組、2小学校と1中学校と姉妹校の協定を結んでいる。今後も引き続き交流を行っていく。

現時点では、台湾の都市との友好関係を結ぶ段階には至っていない。

(町長)

現時点では、台湾の都市との友好都市関係を結ぶ検討段階にはない。

益城町や菊陽町においては協定に向けての取り組みをしている。

将来的な交流推進の方策を考えたい。

(総務部長)

その他の質問

- ・浄化センターの汚泥のたい肥化
- ・からいも生産農家の高齢化に対しての取り組みをすべきだ

Q 酪農・畜産業の危機=再度の支援が必要

A 国・県に強く要望し、町も最大限の支援を行う



あらかし 荒木 俊彦 議員

町内の畜産農家の状況	
酪農	17戸
肉用牛繁殖・肥育	65戸
養豚	11戸
※残念ながらすでに2戸の酪農家が廃業されています。	



NHKの放送記事より 2023年3月2日

Q 畜産・酪農家が、かつてない経営困難、苦境に立たされている。

飼料や燃料代、電気代、牛舎に敷くおがくずの購入費用など、軒並み価格が上昇し、さらに収入の3割ほど占めていた、雄の子牛の価格が下落して、大変な苦境に立たされている。

このままでは、酪農や肥育農家の廃業、倒産が多発しかねず、国内産の牛乳や加工品が足りなくなれば、消費者も困ることになる。

国に支援を要望すると同時に町も再度の支援を考えてもらいたい。

A 畜産業は、日本農業と地域経済を支える産業だが、コロナやロシアのウクライナ侵攻、円安などの影響で、経営が大きく悪化していることは承知している。

特に酪農は、牛乳や乳製品の消費が激減し、生産抑制を余儀なくされ、飼料価格高騰、牛の価格も暴落して酪農も困難な状況であると把握している。

町やJA、農業団体による独自の支援にあわせ、強く国や県へ要望活動を行い、町としても、交付金を活用し、最大限の支援を行っていききたい。

(町長)

その他の質問

- ・ソーラーシェアリングの普及促進

Q 通学路における安全対策は万全か

A 早急に整備を行い通学路の安全確保に努めます



おつか ますお
大塚 益雄議員

現 状



その他の質問

・大津町のゲートウェイとしての役割について

Q 通学路の安全点検については、各校区の青少年育成協議会やPTA、地域の協力で危険個所の報告や点検が行われている点検により教育委員会や問題箇所の担当課や警察により改善や対策が行われている。しかし、予算や実施方法等で未改善の箇所がある。特に美咲野から楽善交差点までの間小中高生の通学路であり、桜の成長に伴い縁石が膨れて歩道が盛り上がり危険である。

A 通学路の安全対策については、通学路安全推進協議会を設置し学校及び保護者から報告のあった箇所については、警察をはじめ県や町の関係部署による合同点検を実施している。将来的には道路植栽維持管理計画を策定し地域の特性を活かし植樹の更新を行いたい。
(町長)

A 樹木の成長に伴い歩道や縁石の盛り上がりについても、歩行者の通行に支障をきたしているものについては段差解消の工事を行っている。今後についても危険性の高い箇所については対応していく。(都市整備部長)

多国籍時代の町政運営について 指定管理者制度の問題点について 施政方針と政党政治について

ながた かずひこ
永田 和彦議員



※ 録画配信をご覧ください！

施政方針と政党政治について
自民党の支部長をされて中立性・公平性の確保はできるか？
施政方針を初め町政全般が自民党よりになるのは必然である。

指定管理者制度の問題点について
東京オリンピック、パラリンピックの汚職事件と類似する。

多国籍時代の町政運営について
生まれ育った環境は違い、しきたりや道徳、善悪正否を判断する理性も違う
大津の住民はOKでも外国人はNOが出てくる。

論点

質問の相手はすべて町長です。

出典：公正取引委員会ホームページ (https://www.jftc.go.jp/) など